

## 新機種紹介

(納品日: 2011年4月17日)

### サミー CRリングにかける1HV (マックスタイプ)



(C) 車田正美 / 集英社・東映  
アニメーション (C) Sammy

賞球 : 3 & 8 & 13 & 15  
 大当たり確率 : 1/397.2 1/39.7 (小当たり1/315)  
 カウント/ラウンド : 9カウント x 2or 5or 16ラウンド  
 出玉 : 約2020個or約500個  
 確変突入率 : 80%  
 時短 : 30回

本体37万8000円、ベニヤ32万8000円。販売予定台数3万5000台

## 特徴

同社製「CRリングにかける1」のシリーズ後継機。モチーフは車田正美氏原作のボクシング漫画「リングにかける」。

液晶上部にドラゴンギミックがあり、左右にクローブ役物、左部にガーアイ役物、下部に誓いの旗役物を収納・搭載。

誓いの旗役物が出現する「集結予告」、発展先リーチのダイジェスト映像が流れる「次回予告」、各予告内で出現する「麒麟柄」を50%以上の高信頼度演出、赤セリフや赤タイトルなど、各演出の「赤」パターンをチャンスアップと位置付けている。

ソフトは、初当たり時における時短なし大当たりを全体の約3割程度、出玉2000個以上の16R大当たりの出現率を4割以上とし、内部状態の推測によるギミック、及び出玉の瞬発力を備えた設計。

## 総合得点

17.5 / 35.0 point

モチーフ	★★★★☆
ゲーム性	★★★★☆
ソフト	★★★★☆
デザイン	★★★★☆
運用期間	★★★★☆
稼働貢献度	★★★★☆
粗利貢献度	★★★★☆

モチーフ : パチスロの実績はあるが、一部の特定層に支持がある程度と見る

ゲーム性 : モチーフの世界観は感じるが、特訓やバトルばかりが目立ちやすい

ソフト : 5R比率がやや高めと、時短30回は物足りなさを与えやすい

デザイン : 役物は演出とうまくリンクしており、一定の醍醐味は伝わる

運用期間 : マックスタイプの1バリエーションで細く長くが無難

稼働貢献 : パチスロ版が好調な店舗では若干貢献度が増す

粗利貢献 : 標準クラスを維持すると予測

## インプレッション

**ここが** モチーフの特徴を打ち出したオーソドックスな内容で、視覚上での多彩性やインパクト、分かりやすさに配慮された面は窺える。  
**O** ソフトは、出玉約2000個の大当たり、及び羽アタッカー採用により、当該大当たり消化のスピードが特徴で、16R連荘時の連荘時の瞬発力・体感しやすい面がある。  
 パチスロ遊技経験者には、演出の馴染みを得られやすい面があり、当該機種のファンへの流入は見込みや期待が定した新機種効果は発揮されやすいはず。

**ここが** モチーフファンでなければ、演出面における多彩性が伝達されずらく、非認知層には似通ったボクシング対決が延々と繰り返される印象は与えやすい。  
**X** 初回通常大当たり時は少出玉+時短なしへと振分けられる点、時短回数が30回転と少ない点に着目すれば、大当たりや連荘終了後の追いかけて促進されづらい面も有している。

## ターゲット・ポイント

ターゲット層 : モチーフファン、マックスタイプファン、一部パチスロファンも有効

導入スケール : 店舗内におけるコンテンツの訴求性を見た上で、バラエティ～コーナーまで検討したい  
 ソフトの辛さ : 「辛い」。